

令和3年度一般会計予算（案）の特色

予算編成方針

1 予算編成の基本的な考え方

令和3年度の予算編成は「明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町」、「次世代に誇れる竜王町」を創る施策を更に推進していくこととします。

また、引き続き将来の健全な財政運営を見据え、財政規律を守りつつ、将来のまちづくりに向けた計画的かつ効果的な事業の実施および本町が抱える課題の解決に向け全庁挙げて取り組んでいきます。

あわせて、ウィズコロナ時代を見据え、新しい生活様式に適応することや社会経済活動の一日も早い回復のための効果的な施策を実施していきます。また、令和2年度に実施した施策について評価し、令和3年度においても引き続き実施が必要なものについては、継続して取り組むこととします。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響による歳入の減少を見込んでおり、厳しい財政事情となることから、事業の取捨選択や見直し等の合理化により歳出の縮減に徹底的に取り組むこととします。また、国・県費等に関し、活用の可能性について情報収集し、徹底して新たな財源の確保に努めることとします。

2 基本方針

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、新たな生活様式において町民が安心して暮らせる地域を構築することおよび社会経済活動の一日も早い回復を図ることは、喫緊の取組事項です。

次に、これまでのまちづくりの取組を継続することとし、『わがまち竜王町まちづくりフォーラム』で掲げた「活力」と「安心」を柱とした次の8つの施策や重点施策プロジェクトを推し進めることで、「明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町」、「次世代に誇れる竜王町」の具現化を目指します。

また、今後も加速する超少子高齢化や人口減少を見据え、持続的な発展を目指した効果的な施策の展開も図ります。

特に、中心核整備（「竜王町コンパクトシティ化構想」と「30年後のグランドデザイン構想」）については、最優先事項として、その実現に向け、重点的かつ着実に推進することとします。

なお、現在策定を進めている「第六次竜王町総合計画」が目指す「竜王町の将来像（10年後のあるべき姿）」を具現化するための施策との整合を図っていきます。

「活力」と「安心」を柱とした8つの施策

(1) 活力あふれるまちづくり

- ①工業団地等への企業誘致の推進および若者定住対策と雇用の促進
- ②竜王で子どもを育てたいという教育の充実
- ③まちを元気にする竜王ブランドを全国へ発信
- ④教育機能の集約化やネットワーク機能の強化

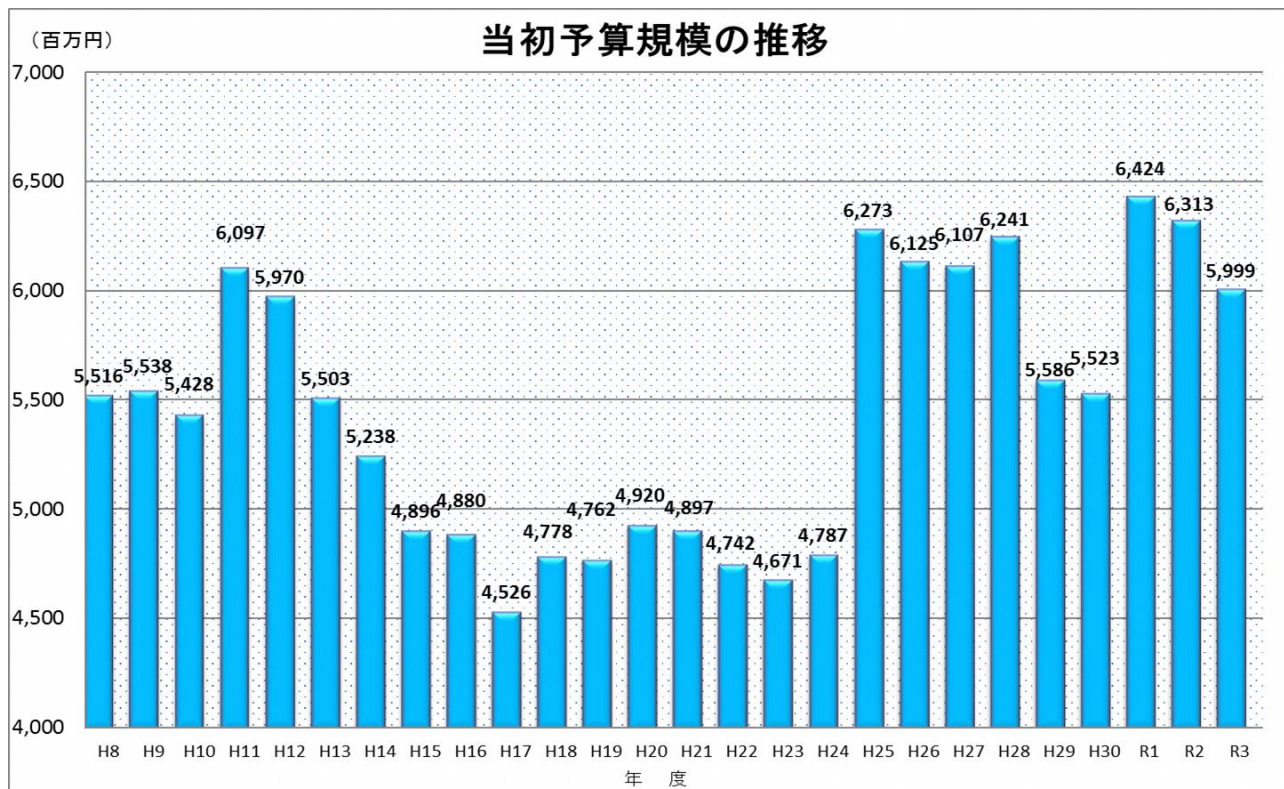
(2) 安心して暮らせるまちづくり

- ①持続可能な地域公共交通の強化および充実
- ②安心して子どもを産み、育てられる環境づくりと子育て支援の充実
- ③健康寿命の延伸と居場所づくりの推進
- ④自然災害に対する危機管理および危機対応力の向上と強靱化の推進

予 算 額

令和3年度当初予算案は、新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な実施をはじめとした感染症拡大防止対策を最優先課題としつつ、平成29年度から取り組んでいる「明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町」、「次世代に誇れる竜王町」を実現するため、「活力」と「安心」を柱とした施策および重点施策プロジェクトの推進に予算を重点配分しています。また、経済社会活動の回復のための施策については今後の状況を踏まえて補正予算対応とすることとします。なお、新型コロナウイルス感染症の影響による歳入の減少を見込み、一般会計の歳入歳出予算総額を59億9,900万円（対前年度5.0%減）としておりますが、第六次竜王町総合計画のスタートの年度にふさわしい、若者に視点を置いた予算編成としています。

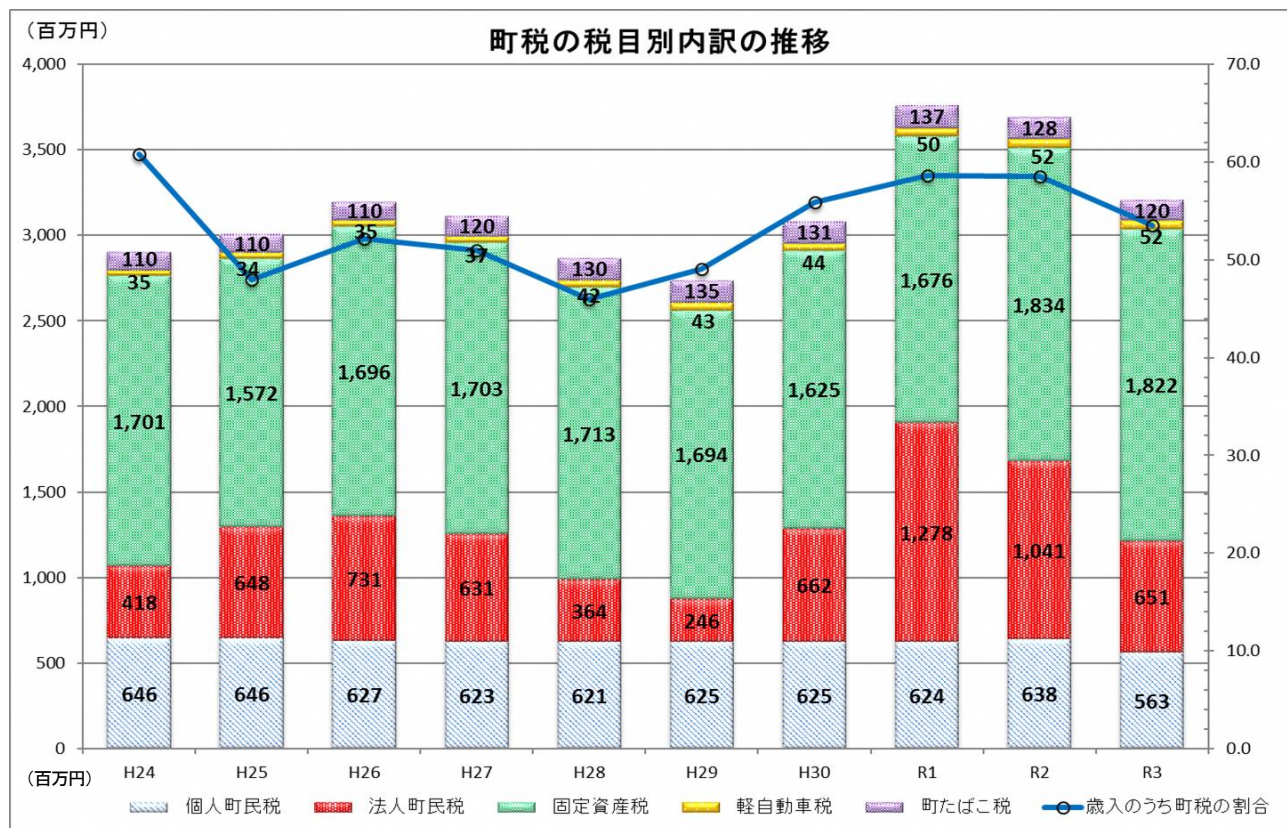
具体的には、コンパクトシティ化構想に基づく、利便性が高く多様な交流を育む中心核の整備、そのリーディングプロジェクトである竜王小学校を移転新築するための基本計画策定、町内外の拠点をつなぐ利便性の高い交通ネットワークの構築のほか、道の駅の機能強化等による農業・商業・観光業の振興、若者の定住対策や教育の充実、また、子育て支援や健康寿命の延伸等による高齢者福祉の充実と多様な参画による地域コミュニティの維持・活性化、自然災害に対する危機対応力の強靱化等に取り組めます。



[歳入] (主なもの)

町税 32 億 826 万円 (4 億 8,555 万円、13.1%減)

法人町民税について、税制改正に伴う法人町民税率の引き下げ、また新型コロナウイルス感染症等の影響により 3 億 8,989 万円の減としました。



法人事業税交付金 1 億 6,000 万円 (4,625 万円、40.7%増)

地方法人特別税・譲与税制度の廃止に伴う法人町民税法人税割の減収分の補てん措置として、法人事業税の一部が県から交付されるもので、県の試算数値も参考にし、増額しました。

地方交付税 6,200 万円 (3,200 万円、106.7%増)

普通交付税は平成 30 年度から令和 2 年度まで不交付でありましたが、町税の減収等を受けて 3,200 万円の皆増を見込んでおり、特別交付税については前年と同額を計上しました。

分担金及び負担金 3,940 万円 (480 万円、10.9%減)

保育所運営費負担金 344 万円の減としました。

国庫支出金 6 億 2,324 万円 (8,129 万円、15.0%増)

社会資本整備総合交付金 (防災安全) 3,020 万円の減を見込む一方で、新型コロナウイルスワクチン接種に係る国庫支出金 6,145 万円、道路メンテナンス補助金 2,750 万円、施設型給付・地域型保育給付負担金 3,044 万円の増としました。

県支出金 4億5,105万円(5,662万円、11.2%減)

施設型給付・地域型保育給付負担金1,147万円、衆議院議員選挙費委託金1,110万円の増を見込む一方で、地域密着型サービス施設等整備費補助金3,360万円、農地防災事業補助金3,101万円、介護施設等開設準備経費補助金755万円の減としました。

財産収入 925万円(4,891万円、84.1%減)

道の駅竜王かがみの里機能拡充に係る土地売却収入4,880万円の減としました。

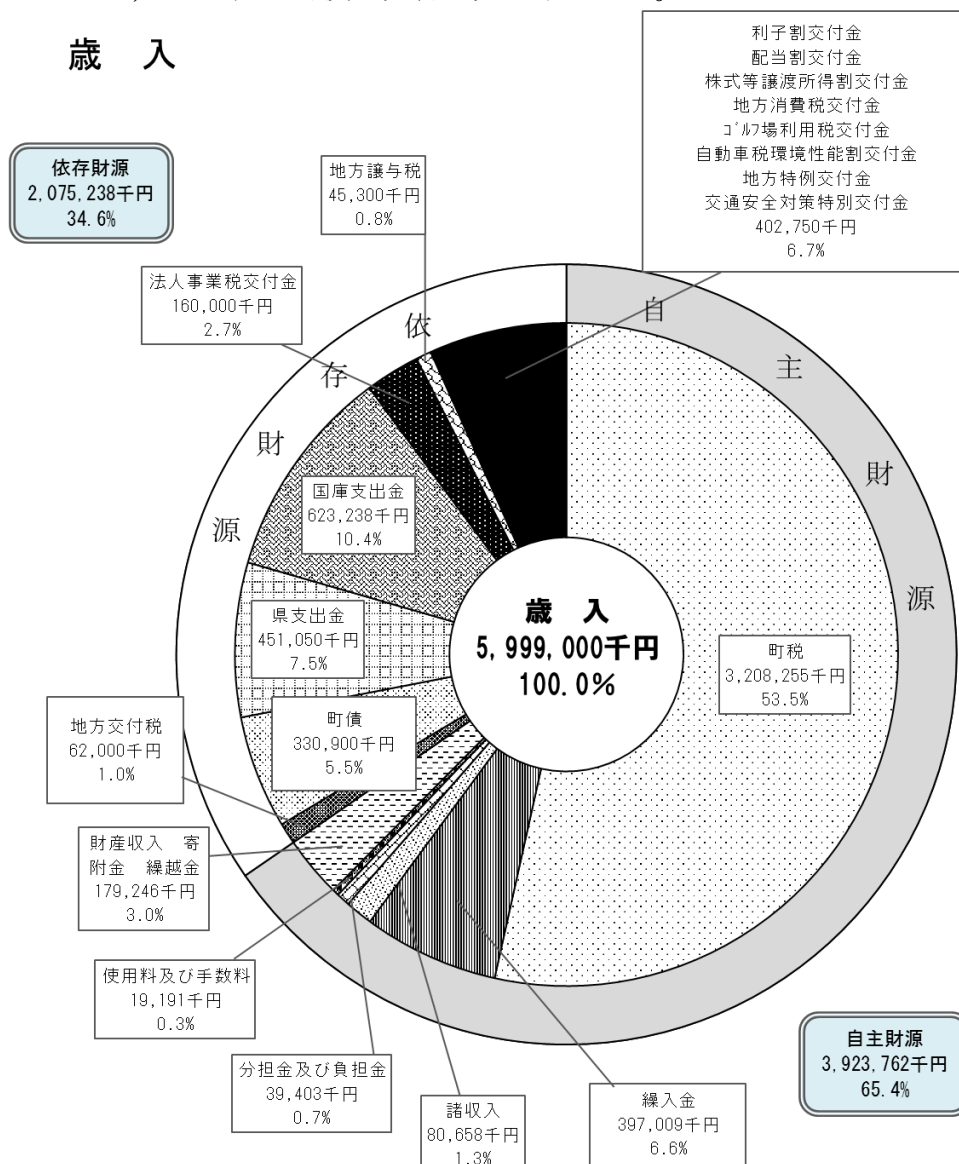
繰入金 3億9,701万円(2,997万円、8.2%増)

減債基金繰入金1億4,014万円の減を見込む一方で、財政調整基金繰入金1億2,215万円、竜王町有線放送施設管理等基金繰入金3,786万円、未来につなぐふるさと交電基金繰入金1,000万円の増としました。

町債 3億3,090万円(9,880万円、42.6%増)

防災行政情報システム整備に係る1億1,530万円の減を見込む一方で、臨時財政対策債1億7,500万円、有線放送設備の撤去工事にあたり4,340万円、農林公園施設整備にあたり2,310万円の町債の発行を見込みました。

歳入



[歳 出]

《 目的別 》

議 会 費 7,616 万円 (101 万円、1.3%増)

議会運営事業について、議会公開のインターネットによる配信に係る録音音声配信業務委託料等が増加しました。

総 務 費 10 億 8,368 万円 (1 億 273 万円、10.5%増)

町長選挙費、基幹統計調査事業、固定資産評価替調査事業等が減少したものの、有線放送継承事業、中心核整備事業、情報系システム開発・管理事業、ふるさと納税推進費等が増加しました。

民 生 費 16 億 7,211 万円 (5,963 万円、3.4%減)

福祉医療費助成事業、放課後児童健全育成事業等が増加したものの、高齢者福祉施設等整備事業、保育所運営費、自立支援給付事業等が減少しました。

衛 生 費 4 億 8,955 万円 (2,353 万円、5.0%増)

汚水処理対策事業、廃棄物減量化推進事業等が減少したものの、新型コロナウイルスワクチン接種事業等が増加しました。

労 働 費 1,228 万円 (63 万円、4.9%減)

東近江地域雇用対策協議会負担金等が減少しました。

農林水産業費 3 億 4,564 万円 (3,591 万円、9.4%減)

農林公園施設整備工事、農業振興ビジョン策定支援業務委託料等が増加したものの、ため池ハザードマップ作成業務委託料、ため池詳細調査(耐震)業務委託料、ため池廃池等整備工事、農林公園施設の維持修繕費等が減少しました。

商 工 費 1 億 124 万円 (96 万円、0.9%減)

中小企業資金融資事業、商工振興対策事業等が増加したものの、産業振興奨励事業等が減少しました。

土 木 費 5 億 7,975 万円 (6,216 万円、9.7%減)

公共下水道事業繰出、道路橋梁整備事業、総合運動公園管理運営事業等が減少しました。

消 防 費 2 億 6,242 万円 (1 億 2,525 万円、32.3%減)

防災情報通信設備管理事業、消防施設管理事業等が増加したものの、防災情報通信設備整備事業、町ハザードマップ作成事業、災害時要援護者支援事業等が減少しました。

教 育 費 7 億 7,960 万円 (2,528 万円、3.1%減)

文化財保存活動事業、学校教育振興事業、ふるさと文化振興事業等が増加したものの

の、小学校コンピュータ整備事業、埋蔵文化財緊急発掘調査事業等が減少しました。

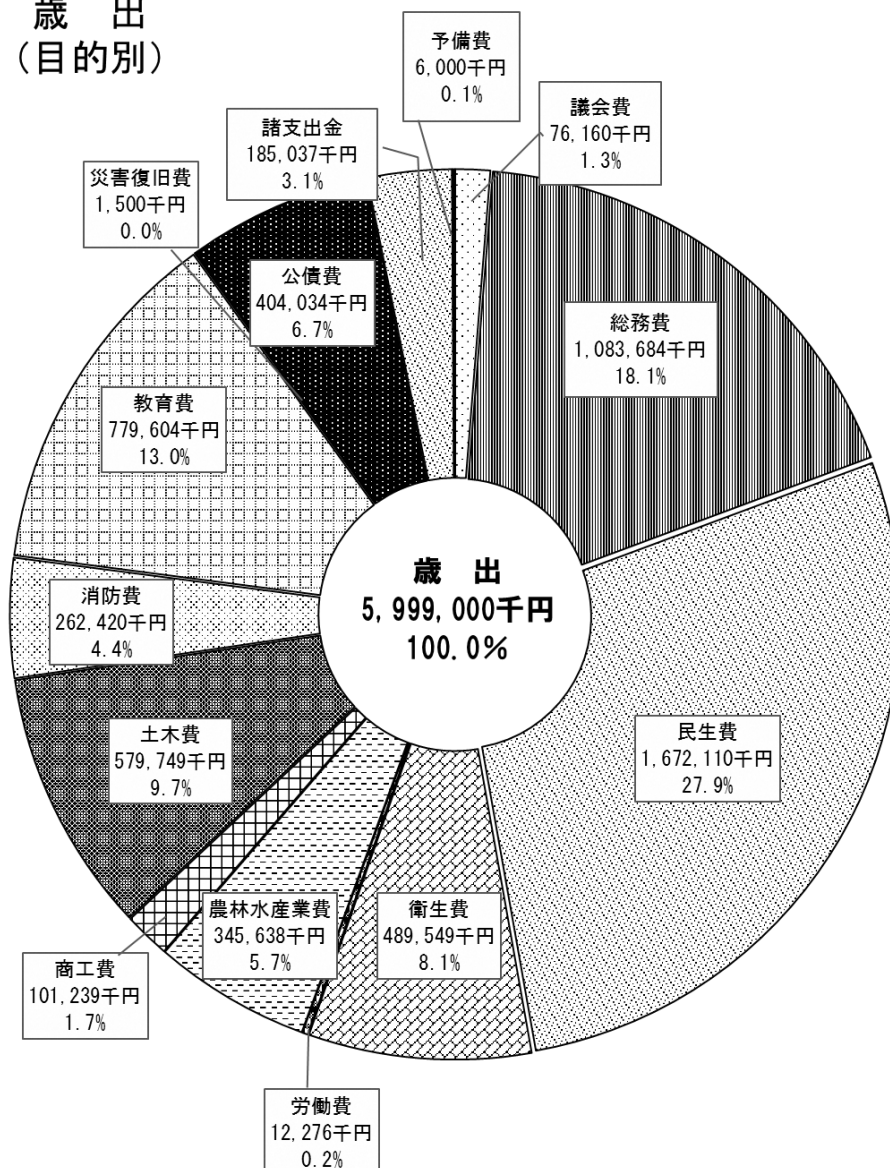
公 債 費 4 億 403 万円 (1 億 5,316 万円、27.5%減)

令和元年度および令和2年度の計画的な繰上償還の完了により償還元金が減少しました。

諸 支 出 金 1 億 8,504 万円 (2,171 万円、13.3%増)

未来につなぐふるさと交産積立金が増加しました。

**歳 出
(目的別)**



《 性質別 》

人 件 費 15 億 3,603 万円 (197 万円、0.1%減)

前年度とほぼ同等の額としました。

物 件 費 10 億 8,814 万円 (7,619 万円、7.5%増)

ため池ハザードマップ作成業務委託料、橋梁修繕計画策定業務委託料、竜王小学校耐力度調査業務委託料等が減少するものの、新型コロナウイルスワクチン接種委

託料、電算管理用備品、中心核整備に係る交流・文教ゾーン造成等基本設計業務委託料、竜王小学校建築設計業務委託料等が増加しました。

維持補修費 1,324万円（1,705万円、56.3%減）

農林公園施設、中学校プール周辺の維持補修に係る経費が減少しました。

扶助費 8億8,945万円（2,270万円、2.5%減）

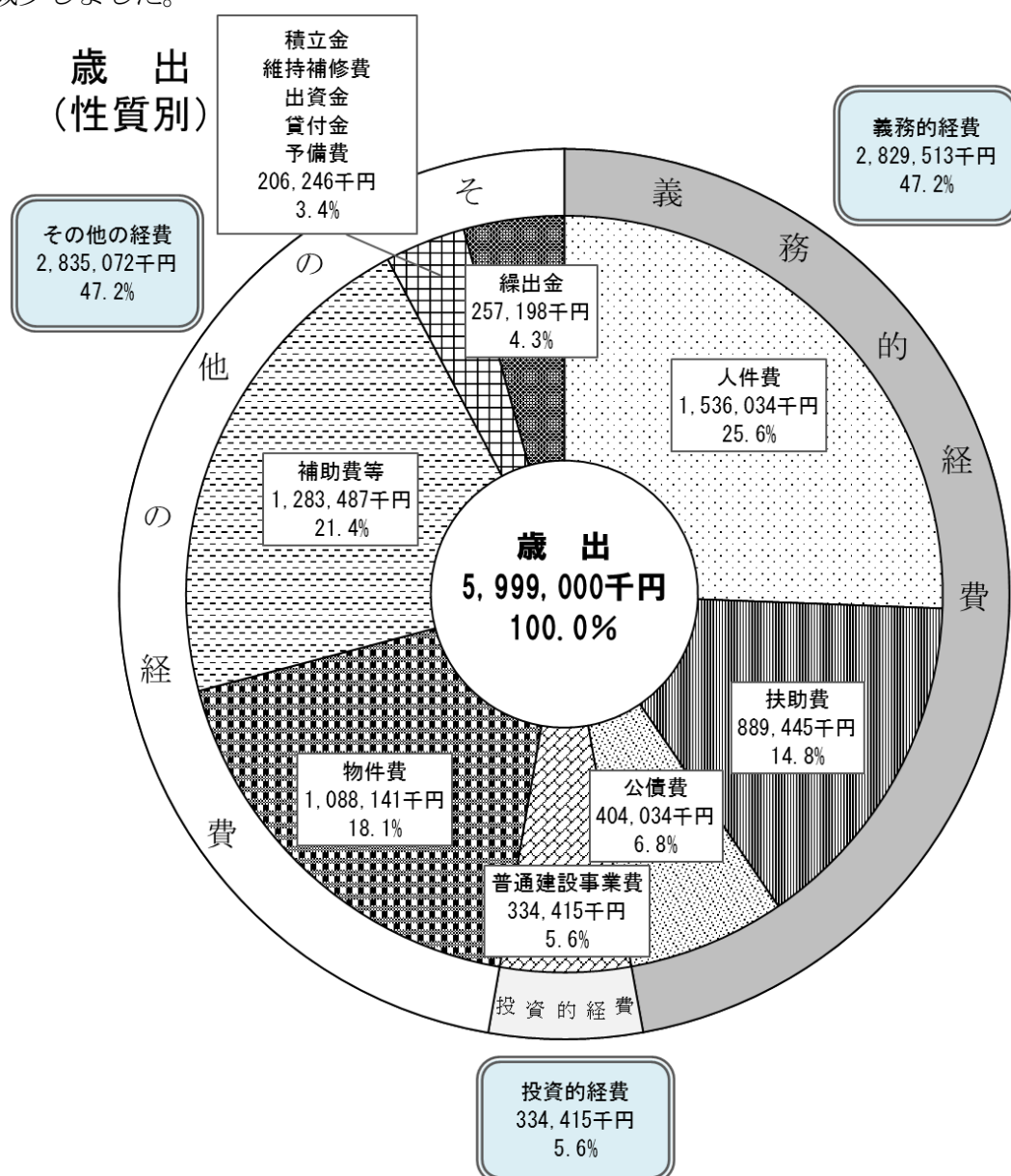
福祉医療扶助費、自立支援給付費、保育所運営費等が減少しました。

補助費等 12億8,349万円（1億1,033万円、7.9%減）

河川愛護作業補助金、放課後児童健全育成事業委託料等が増加したものの、高齢者福祉施設等整備事業補助金、産業振興奨励金等が減少しました。

普通建設事業費 3億3,442万円（1億1,651万円、25.8%減）

有線放送設備撤去工事、町道道路改良・舗装他工事、農林公園施設整備工事等が増加したものの、防災行政情報システム整備工事、土地取得費、橋梁耐震修繕工事等が減少しました。



活力あふれるまちづくり

1 コンパクトシティ化構想実現に向けた中心核の整備

①コンパクトシティ化構想リーディングプロジェクト「交流・文教ゾーン」の整備

3,597 万円 《拡充》

コンパクトシティ化構想に基づく中心核の整備において、先導的事業である「交流・文教ゾーン」の整備について、地元や国、県などの関係者と協議を進めるとともに、事業地造成の基本設計と新設道路の予備設計等に着手します。

2 魅力ある農業・商業・観光業およびスポーツ等の振興支援策

①道の駅アグリパーク竜王の拡充・整備 6,320 万円

施設の更なる充実を図るため、国の交付金を活用し令和元年度から令和3年度において産地形成促進施設として直売所増築などの施設整備を進めています。令和3年度は近江牛発祥の地である本町の強みを生かすため、近江牛販売施設「ミートショップ」等の整備を行うことにより来訪者の増加、販売促進等の役割を果たし地域産業の活性化につなげます。

②魅力ある農業の創生と農業振興のあり方の検討 1,142 万円

米・野菜・果樹・近江牛等の魅力ある農畜産物を真のブランドとして創生するため町独自に支援をします。また、令和3年度は検討会議において幅広い分野から意見を聞く中で、将来にわたり持続的で発展性のある竜王町農業を維持するため、担い手の育成、経営基盤の安定、産地の育成強化、土地改良施設等の保全等について方向性を示す『竜王町農業振興ビジョン』の策定を進めます。

③竜王近江牛等特産品の魅力を発信 290 万円

令和3年は、近江牛発祥の地である竜王町を象徴する丑年です。世界に誇るこの「近江牛」を基軸にしたまちの特産品や歴史、文化などの地域資源を発信するため、関係機関と連携しブランドプロモーションや町内集客施設との地域連携を進めていきます。

④滋賀国民スポーツ大会に向けたスポーツクライミングの普及促進 110 万円

令和7年度に開催される滋賀国民スポーツ大会では本町がスポーツクライミングの競技会場地となることから、町民のスポーツ振興に対する機運醸成を図ることを目的にボルダリング施設の整備を進めるとともに、小学生ボルダリング体験教室や竜王町クライミングアンバサダー（広報大使）による魅力発信に加え、滋賀国スポ大会への出場をめざす地元出身選手の育成強化を行います。

⑤「ふるさと竜王夏まつり」および「第40回記念竜王町文化祭」の開催補助 450 万円

2年に一度開催される両イベントの開催を前提として、コロナ禍を乗り越え、活力あるまちづくりにつながるよう、実行委員会に対し補助を行います。

3 新たな企業誘致の推進および若者定住対策と雇用の促進

①若者も暮らしたくなる定住のための住まい助成 1,450 万円

若者の定住を促進するため、住宅の新築およびリフォームならびに家賃への助成を行うことで定住化を図ります。また、町有地を活用した住宅地確保に向けた検討も継続します。

②立地企業との関係強化と新たな企業誘致の推進 69 万円

立地企業との関係強化と新たな企業の誘致を推進し、地域経済の活性化を図ります。

4 竜王で子どもを育てたいという教育の充実

①竜王小学校の移転新築に向けた準備 1,005 万円

令和7年4月に開校をめざす竜王小学校を移転新築するための基本計画を策定します。

②きめ細かな教育の推進 7,967 万円

町費による各種支援員等を町内校園に配置し一人ひとりに寄り添うきめ細かな指導や支援を充実します。
また、更なる就学前教育・保育の充実と保護者のニーズに応えられるよう、令和4年度の開園をめざし、本町にふさわしい町立幼稚園から認定こども園への移行を進めます。

③生きて働く基礎学力の定着と幼小中系統的英語教育の推進 694 万円

児童生徒の基礎学力の定着に向けた指導力の向上、また「徹底反復学習」に取り組み、集中力の向上や脳の活性化を図り総合的な学力の向上をめざします。さらに、英語教育については幼小中の系統性を一層重視し、英語に慣れ親しむ機会を拡大するなど更なる充実を図ります。

④子どもの健やかな成長を支援する家庭教育の充実 100 万円

国の『「早寝早起き朝ごはん」推進校事業』を受託し、「家庭の教育力向上」を社会教育の中心に据え、積極的に推進することにより、子どもたちの学ぶ力の向上と規則正しい生活習慣の確立をめざします。

安心して暮らせるまちづくり

1 安心して子どもを産み、育てられる環境づくりと子育て支援等の充実

①小中学生の医療費無償化を継続 2,850 万円

小学生から中学校卒業までの医療費の無償化を継続します。（平成29年10月からの実施）

②放課後児童の健全な育成 5,398 万円《拡充》

西小学校区の借地も含めた学童保育所5クラスを運営し、昼間就労等で保護者が不在の児童に対し安心して安全な育成の場を提供します。令和3年度は西小学校区の学童保育所新築に向け設計業務を行います。

③給食センター内の食物アレルギー対策 340 万円

食物アレルギーがある園児・児童・生徒が年々増加している中、学校給食で最優先される安全性を確保するため、町費栄養士の配置およびアレルギー対応給食管理システムの導入を行います。

④軽自動車の購入助成 154 万円

定住促進および子育て世帯の支援を目的とした軽自動車購入の助成、また、高齢者の安全確保を目的とした先進安全性能を備えた軽自動車購入に対する助成を行い、あわせて地域経済の活性化を図ります。

2 健康寿命の延伸と地域コミュニティの維持・活性化

①りゅうおう健康ベジ7（セブン）チャレンジの推進 178 万円《拡充》

健康課題である糖尿病および高血圧症などの予防のため、健康いきいき竜王21プランに基づき、地域や関係機関と協働して取り組み、令和3年度は加えて「1日プラス10分動こうチャレンジ」の推進に取り組み、健康寿命の延伸を図ります。

②地域コミュニティの維持・活性化 200 万円《新規》

多様な参画によるこれまでの地域コミュニティの維持・活性化を図るとともに、竜王町にふさわしい新たな活動組織のあり方を検討します。

③自治会が行う事業に対する助成 1,789 万円

地域住民の自主性および協調性の向上ならびに個性的で魅力ある地域の形成と協働によるまちづくり意識の向上を図るため自治会が行う事業に対し助成を行います。

3 持続可能な交通・道路ネットワークの確保

①路線バスとチョイソコリゅうおうの利用促進 1,059 万円

子育て支援や路線バスの利用促進を目的とした通学定期補助および夜間特別便、また、町内の各拠点をつなぐ「チョイソコリゅうおう」の実証運行を継続します。

②橋梁の修繕工事と道路交通網の長寿命化 1 億 2,450 万円

緊急輸送道路である竜王大橋の修繕補強工事や町道の舗装修繕等により長寿命化を図ることで通行の安全を確保します。

4 自然災害に対する危機管理および危機対応力の向上と強靱化の推進

①竜王町防災行政情報システムの運用管理 672 万円

災害時の迅速な避難行動等につなげるため、令和 2 年度に整備した防災行政情報システムの公式アプリ（しるみる竜王）等を活用し、的確な情報伝達を図ります。

②日野川改修・国道 8 号整備促進の強化 200 万円

日野川改修については、県が実施している日野川河道概略検討について、日野川改修期成同盟会において協議を進めるとともに、日野川の抜本改修のための河川整備計画変更が早期に実施されるよう加速化を図るため国・県要望を強化します。また、国道 8 号についても、東近江区間を早期に調査区間に指定されるよう加速化を図るため、国道 8 号（東近江区間）整備促進期成同盟会を中心に国・県要望を強化します。

新型コロナウイルス感染症に対する主な対策予算

・新型コロナウイルスワクチン接種事業 6,145 万円

ワクチン接種体制確保として、新型コロナウイルスワクチン接種推進チームを設置し、ワクチン接種を円滑に実施します。

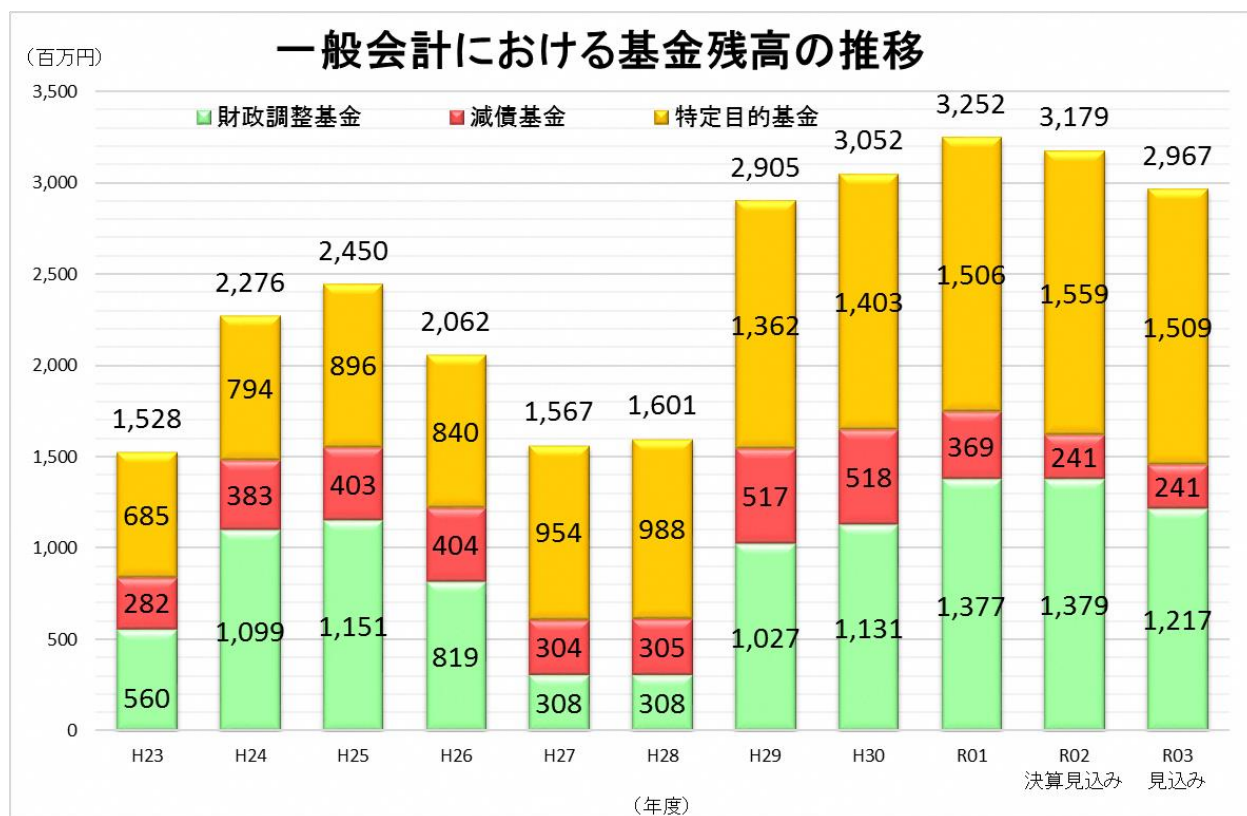
・県制度融資「セーフティネット資金」の利用時における利子補給 400 万円

売上等が減少している中小企業の資金繰りの支援策として、県制度融資「セーフティネット資金」の利用時における利子補給を実施します。（利子補給期間 3 年間の 2 年目）

基金残高見込みについて

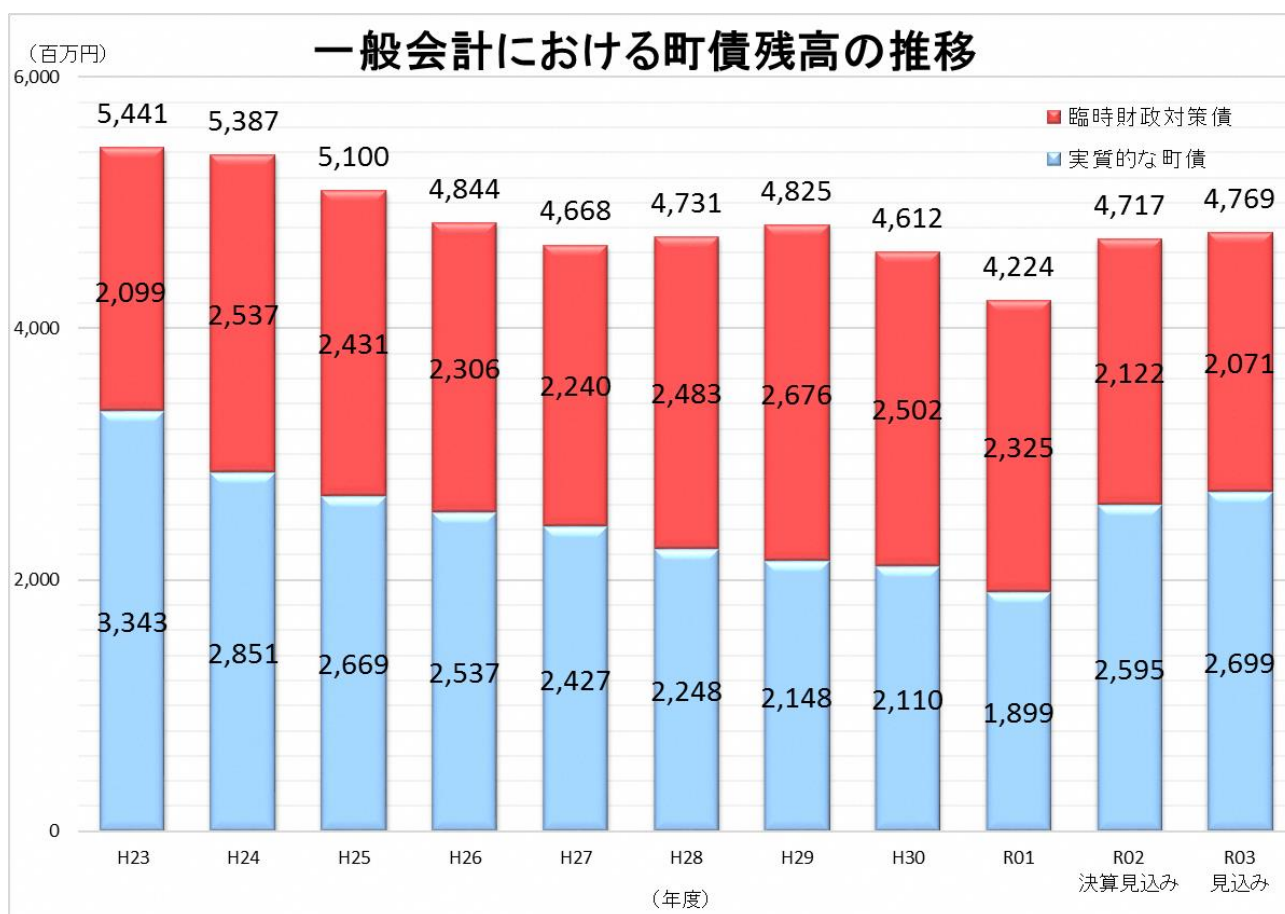
令和2年度一般会計予算については、基準財政収入額の算定における収入額に対し、実際の収入見込額が下回る見込みであることから、その減収見込分については減収補填債による財源補填を行うこととし、財政調整基金からの繰入れは行わないこととしました。一方で財政調整基金への積立てについては利子分のみを予定しています。

令和3年度一般会計当初予算（案）においては、法人税割の税制改正に伴う法人税率の引き下げにより減収が見込まれること、また、新型コロナウイルス感染症の影響による減収が見込まれること等により、同基金から1億6,415万円を取り崩すこととしています。これにより、令和3年度末で同基金の残高は12億1,658万円程度になると見込んでいます。また、その他の特定目的基金について様々な行政課題に対応するため2億3,286万円の繰入れを予定しています。なお、積立てについては、未来につなぐふるさと交歓基金に約1億5,000万円、竜王町立竜王小学校改築基金に3,000万円等を見込んでいることから、令和3年度末のその他特定目的基金の残高は15億913万円程度になると見込んでいます。



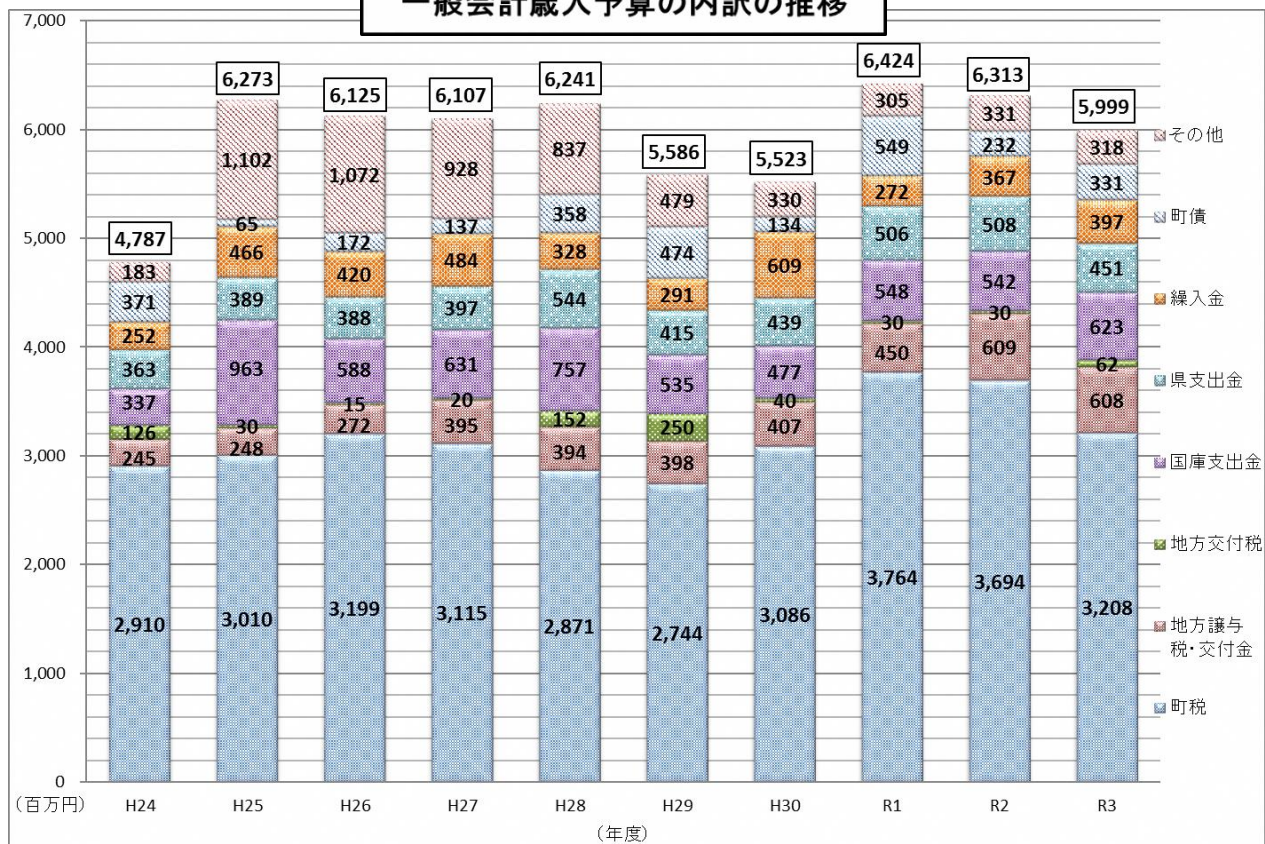
町債の発行および残高見込みについて

町債発行額は、3億3,090万円で前年度当初予算と比べると9,880万円（42.6%）の増と
しています。この主な要因は、令和2年度に防災行政情報システムの整備が完了し減額とな
るものの、令和3年度は臨時財政対策債の発行を予定していることから増額しているためで
す。また、令和3年度末の町債残高は、47億6,946万円で対前年度1.1%増となる見込みで
す。これは令和3年度中に町債を発行する分と、国の補正予算による令和2年度からの繰越
事業の追加発行分を含めた増額を見込むことによるものです。



その他（参考）

一般会計歳入予算の内訳の推移



一般会計歳出予算の内訳の推移

